



「区域内は30km制限です」

歩行者を守るゾーン規制

指定された区域内の制限速度が時速30kmとなる「ゾーン30」の強化日となった6月30日、区域設定されて

いる矢向小学校周辺で、鶴見警察署による見守り活動が行われた。

知を図っている。

区域の設定について鶴見署交通課は、危険度を考慮しながら申請しているとし、寺尾小学校地区で申請中だという。

認知度向上へ

ゾーン30は、事故抑止を目的に、住宅地等をゾーンとして設定し、その区域内の道路では制限速度を時速30kmとするなど、歩行者の安全を確保するための交通規制。90年代に欧州の都市部で広がり、日本では2011年から始まった。

区内の指定区域は現在、矢向小学校地区と上寺尾小学校地区の2カ所。区域内に制限速度を示す標識を立て、ドライバーなどへの周知を図っている。

区域での活動を強化している。矢向小周辺にはこの日、白バイ隊員2人を含む、5人の警察官が下校時刻の児童らの見守りを行った。

ゾーン30の矢向小周辺で活動する警察官

ただ、ゾーン30について同課は、「認知度はまだまだ不足している」という認識を示しており、交通安全キャンペーンや、住民への安全講話などの際にPRしていきたいとしている。

